

角田市第6次長期総合計画シンポジウム

令和4年度から10年間の本市のまちづくりの指針となる角田市第6次長期総合計画の策定にあたり、市民の皆さんをはじめ、市内企業・団体の皆さんなど、本市に関係のある様々な立場の方々と共に、これからの角田市のまちづくりを考える機会をつくるために、このシンポジウムを開催しました。

人口が減少していく中でまちづくりには、行政の力だけではなく、皆さんの【市民力】が重要です。これから10年間のまちづくりについて、みんなで考えましょう！！

プログラム

13:30 開会

第6次長期総合計画の方向性と重点プロジェクト

黒須 貫 角田市長

14:00 基調講演

「私」からはじめる「まち」のつくり方

渡辺 一馬 氏 一般社団法人ワカツク代表理事

14:40 パネルディスカッション

コーディネーター

柳井 雅也 氏 東北学院大学教授

パネリスト

渡辺 一馬 氏 一般社団法人ワカツク代表理事

藤井 郁美 氏 車いすバスケットボール女子日本代表キャプテン

谷津 智里 氏 編集者/ライター、かく大学ファシリテーター

黒須 貫 角田市長

16:00 閉会

メモ欄

登壇者紹介

◆ 基調講演

渡辺一馬 一般社団法人ワカック代表理事

角田市出身。1997年、新設の宮城大学へ第一期生として入学。在学中に学生ベンチャーサークル・デュナミスへ参画。2001年、卒業と同時にデュナミスを会社法人化し、代表に就任。「世界を変える人材を数多く生み出す仕組みを創る」ことを目的として、インターンシップ事業を開始した。震災後、一般社団法人ワカックを立ち上げ、ボランティアやインターンのコーディネート事業を展開。若者の「課題解決」への挑戦を支援、「若者が成長できる東北」を目指している。せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、東北学院大学および東北工業大学非常勤講師、等。



◆ パネルディスカッション

<コーディネーター>

柳井雅也 東北学院大学教養学部地域構想学科教授

仙台市生まれ。法政大学大学院地理学博士課程中退。桐蔭学園高等部教諭、岡山大学文学部助教授、富山大学経済学部教授。2005年4月より東北学院大学教養学部地域構想学科教授。1993～94年UCLA大学客員研究員。2013～14年ケルン大学地理学部客員教授。専門：経済地理学（産業立地論、地域づくり、東日本大震災からの復興）。角田市長期総合計画審議会長、仙台市中小企業活性化会議会長、総務省ふるさとづくり懇談会委員、復興庁ハンズオン事業、復興庁産業復興事例集監修委員会委員長等。



<パネリスト>

藤井郁美 車いすバスケット女子日本代表主将／(株)電通デジタル／宮城MAX,SCRATCH所属

横浜市生まれ。高校在学中、男子バスケットボール部顧問に車いすバスケットボールの存在を教えてもらう。「センスがあるからちゃんと練習すれば日本代表になるのも夢じゃないよ」と言われ、バスケットで日の丸をつけられるという言葉に後押しされて、20歳から本格的に競技を始めた。2006年のオランダアムステルダム世界選手権で「同じ競技をしていると思えない」と思うほど海外との差を感じ、環境を変えようと日本一の男子のチームである「宮城MAX」に移籍。2018年のアジアパラ競技大会では日本女子代表のキャプテンとしてチームを銀メダルに導いた。より競技に専念するため、2018年10月に電通デジタルに入社。2020年東京パラリンピックではキャプテンとしてチームを引っ張った。



<パネリスト>

谷津智里 編集者／ライター／かく大學ファシリテーター

東京で生まれ育ち、出版社勤務を経て2008年に夫の故郷である白石市へ移住。

東日本大震災後、地域の文化再生、コミュニティづくりに関わるプロジェクトに参加しながら、それらを伝えるパンフレットや書籍の編集・ライティングを行うようになり、近年は展示ディレクション、市民ライター講座の講師、ワークショップファシリテーターなども手がける。「その地域がその地域らしくあるために」を信条に、市民自らの手による地域づくりを応援。仙南地区を中心に県内を駆け回っている。

